

【水彩画クラブ27】卒業後5年目の活動 2017年6月

◇第96回活動:2017年6月5日(月) 午後1時から スエック207室

5月26日(金)の校友会事業「パークゴルフ大会」が雨天中止になったため、新たに「納涼会」(7月28日(金))が企画された。クラス会員の皆にはメールで参加募集をしている。

今日の確認では、篆刻クラブが当日の活動と重なり、金子さん、黒澤さん、田中さんが不参加。他に坂本さん、神代さんが不参加。

今日の活動は、土堤、河原の菜の花と草むら、右端の土堤を描いていく。

1. 次の箇所にマスキングを施していく。

- ① 小筆の筆先にマスキングインクを含ませて乾かし、筆先を3、4本位に枝分けしたマスキング用筆で、課題写真を見ながら、花の先端を描くようにチョンチョンとマスキングする。
- ② 左側土堤に張り出している枝葉にチョンチョンとマスキングする。
- ③ 右側土堤の上から草むらにかかる枝葉にチョンチョンとマスキングする。
- ④ 河原の川筋に見える水面や、堰堤にマスキングしておく。

2. 施したマスキングインクを乾かしてから、菜の花を黄色で塗っていく。

きいろか、鮮黄色を予め水溶きしておく。課題写真を見ながら、花の部分に水溶きした黄色を小筆で塗っていく。

3. 塗った黄色をドライヤーで乾かしてから、花の形を意識しながらダブルマスキングしていく。密集して黄色に見える部分では、インクをつけてから指先でチョンチョンと、すき間を無くすようにする。

4. マスキングインクを十分に乾かしてから、河原の草むらに色をおいていく。

① グリーン色を何種類かつくっておく。

- ・きれいなグリーン 少し濃い青色+イエロー
- ・やや汚れたグリーン 少し濃い緑色に影色などを加える
- ・明るめのグリーン 深い青色+暗緑色

※夫々の色を溶いた順番に紙に塗り、溶いたパレットの位置を確認しておく。

② 川筋の左側は暗めに、右側は明るめに塗っていく。草が生えているように、下から上に筆を動かして塗っていく。課題写真を見て、濃いところ、淡く見えるところを塗り別けていく。

③ 左側土堤際の草むらに、正面までの土手際に暗めなグリーンで草を描くように、ツンツンと境目を描いていく。右側の土堤際にも同様に草を描くように、ツンツンと境目を描いていく。

④ 塗ってきた絵の具をドライヤーで乾かしてから、土堤際にツンツンと草を描くようにマスキング筆で施していく。

5. 左側から正面への土堤、右側の土堤を描いていく。

① 影色をつくる。

暗青色と焦げ茶色を混色し、少しバイオレットを混ぜておく。

② グリザイユ技法で土堤を塗っていく。

1) 土堤に枝葉が垂れて出来ている黒っぽい影に、課題写真を見ながらその影を暗い影色で描いていく。

2) 塗った暗い影色を含めて土堤全体に水をサーッと平筆で塗り、薄めに溶いた影色を斜めに筆を動かして土堤を塗っていく。

3) 右側の土堤は、少し濃い目の影色を筆に取り、上から左斜め下に筆をドライブラシ気味に動かして色をおいていく。所々に見えるコケや草を、4の①項でつくったやや汚れたグリーンでチョンチョンと描いていく。

6. 塗った絵の具をドライヤーで十分に乾かしてから、施しているマスキングインクをきれいに剥がし取っていく。

菜の花の黄色が意外と淡すぎているので、「きいろ」or淡い黄色を少し濃い目にして、課題写真を見ながら菜の花群に黄色をおいていく。

※今日の活動はここまでで時間が終了したので、描き残っている正面の橋桁、奥の土堤、左側土堤の上部に見える柵などを宿題として仕上げてくる。

※空は、深い青色を多目の水で溶いておき、空部分に水をハケ塗りしてから平筆で上部分に色を水平にサーッと塗っていく。木々先端に近づくに従って淡く、白っぽくしていく。

7. 次回(6月26日(月))の活動予定

次回の活動は、マスキング技法を練習します。

◇F6のウォーターフォード水彩紙を1枚用意してくる。水彩紙は水張りしても、しなくても良い。

◇第97回活動:2017年6月26日(月) 午後1時から ヌエック207室

◇先週20日(火)に開催された「校友会臨時役員会」の話し合い内容について、簡単に報告した。

- ① 27期校友会HPは、PDF版でのアップを来年3月迄継続していく。検討していた「かわら版」方式は何回か並行して発行する。
- ② 現在アップ実務を率先して担当されている大木総務を手伝う為に、9月5日(火)午後にヌエック:マルチメディア室において、現役員と写真クラブ員代表が参加し、各自PC持参で大木総務から操作を勉強する。

◇研修棟の駐車場利用について

駐車場は10台程度の並列スペースで、その後ろは可動柵で塞がれてデッドになっている。会員同士で待ち合わせて、柵を動かして後ろに止め、その前に停めるようにすると駐車スペースが確保できる。

午前利用の人たちは12時過ぎると徐々に空いていくので、成るべく示し合わせて12時15分前後に駐車場で待機し、1台目が可動柵を後ろに移動させて駐車し、もう1台がその前に駐車することを話し合った。

今日の活動は「ドライブラシ技法」の練習ということだったが、内ちゃん先生が写真『浅間山を臨む春の林』を配布した。各自用意してきたF6の水彩紙に簡単にデッサンして、描き始めた。

1. 課題写真『浅間山を臨む春の林』を簡単にデッサンする。

注意点 ① 上半分を占める空と浅間山は鉛筆書きしないでおく。

② 下半分に課題写真を見ながら、うすく光って白っぽく見える林群を描いていく。

中央手前と左側、正面中央部分に見える杉の木たちも描いていく。

2. 浅間山との境い目にある、白っぽく見える木々の先端部分、各木々の境い目、杉の木との境い目などにマスキングペンでチョンチョンとランダムに葉っぱを描くようにマスキングしていく。

次に、前に使った穂先を2~3本に枝分かれさせた小筆にインクを付け、紙にチョンチョンと余分なインクを落としてから、チョンチョンとランダムに葉っぱを意識しながらマスキングしていく。

3. 施したマスキングインクを十分に乾かしてから、ドライブラシ技法を駆使して色をおいていく。

① グリーン色を何種類かつくっておく。

- | | |
|------------|-----------------|
| ・きれいなグリーン | 少し濃い青色+イエロー |
| ・明るめのグリーン | 深い青色+暗緑色 |
| ・杉の木の色 | 暗青色+暗緑色 |
| ・やや汚れたグリーン | 少し濃い緑色に影色などを加える |

※夫々の色を溶いた順番に紙に塗り、溶いたパレットの位置を確認しておく。

② 課題写真を見ながら、夫々の木々に色をおいていく。

- ・きれいなグリーンに黄色を多めに溶いて、黄色に近いグリーン色に水溶きし、右側の木々や中央の木々にドライブラシ技法でランダムに筆を動かして描き、直ぐに水筆でぼかしていく。
- ・中央手前にある杉木立、左奥に見える杉木立、右側奥に見える2~3本の杉の木を、ドライブラシ技法で枝向きに合わせて筆を動かして描き、直ぐに水筆でぼかしていく。
- ・左端に見える暗い部分は、やや汚れたグリーンに少しバンダイキブラウンを混ぜて茶色っぽくしたグリーン色をドライブラシ技法でランダムに描いていき、直ぐに水筆でぼかしていく。

4. 描いてきた色をドライヤーで十分に乾かしてから、ダブルマスキングを施す。

最初にマスキングした木々の先端部分、林の中の木々の境目などにマスキングペンで葉っぱを意識しながらランダムにチョンチョンとマスキングする。

5. マスキングインクを乾かしてから、課題写真を見ながら中に見える木々の幹や枝振りを、暗青色と少し多目の焦げ茶色の混色を細い小筆で描いていく。

6. 暗青色+焦げ茶色でつくった濃い目の影色で、課題写真を見ながら木立の境目、暗く見えるところ、杉の木に見える暗い影部分などに、小筆で描くように色をおいていく。

7. 前項3の①でつくった夫々のグリーン色、少し濃い目にしてドライブラシ技法で木々の葉群の重なり具合を意識しながら描いていく。

8. 描いてきた色をドライヤーで十分に乾かしてから、施したマスキングインクをきれいに剥がし取る。浅間山を後から

描いていくので、その境目となる木々の先端部にあるマスキングインクは剥がさないようにすること。

9. 次回(7月10日(月))の活動予定

- ① 各自自宅で、今日の作品を仕上げてくること。
- ② 配布された課題写真『砂岩が露出する砂浜』をF8のウォーターフォード水彩紙にデッサンしてくる。
下部の砂岩を描くために、16等分の鉛筆線は引かず、交差点に薄く「十」を書き、その半分部にも「十」印を付けて、位置関係を意識しながら、砂岩を写し取る。
- ③ 砂岩を描くときに使う水彩色鉛筆を用意する。色は焦げ茶が良いが、無ければ黒色と茶色でつくって描いていく。